

事業番号	104
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	交通安全推進事業				担当課	市民協働課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	交通防犯係	
総合計画	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮らせるまち					
	目標	③ 交通死亡事故ゼロを目指す（交通安全）					
	成果指標	湖西警察署管内交通事故の発生件数	中間目標 (H27)	355件	最終目標 (H32)		
		高齢者交通安全教室参加者数		450人			
予算区分	一般会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	8 目 交通安全対策費			
	細事業	221 交通安全推進事業					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的（何のため）	交通安全意識の向上と、交通事故防止を図る。						
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察、交通安全指導員、交通指導員、シルバーポリス等との協働による交通安全意識の啓発と安全指導を実施する。</li> <li>・各季の交通安全運動を市民総ぐるみで展開する。</li> </ul>						
これまでの改善・見直しの状況							

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	13,542	13,065	12,362	(内訳)	
	決算	11,930	11,324	→	物件費	695
財源内訳	国庫支出金				補助費等	10,629
	県支出金					11,324
	地方債					
	その他					
	一般財源					
職員人件費	3,855	3,588	2,894	人工	0.4 人	

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	交通安全キャンペーン実施回数		回	目標	18	20
実績				11		
高齢者交通教室の回数		回	目標	7	7	43%
		実績		3		
			目標			
			実績			

実績・改善	<p>平成23度 活動内容</p> <p>年4回の交通安全運動の実施 交通指導隊による活動 小中学校での交通安全教室の開催 交通安全リーダーと語る会への参加</p>
課題・問題点 となった事項	<p>早朝一斉街頭指導の見直し（指導場所・人員の見直し） 交通指導員の人手不足。 学校での交通教室の内容が工夫されていない。 老人クラブの会員になっていない市民は参加できない。</p>
どう対処したか	<p>街頭指導の人員を見直し、新人職員にお願いした。 指導場所を見直した。 広報による交通指導員を募集したが、応募はなかった。 担当職員が現状把握するために、交通安全教室へ積極的に参加した。 会員にとらわれず公募により参加者を募集した。</p>
改善点	<p>小、中学生の公募による交通安全手書きのぼり旗の作製、掲出</p> <p style="text-align: right;">効果額 H24-H23 (千円)</p>

自己評価	事業目的の 達成状況	交通安全キャンペーンの実施回数の目標は、達成していないが、年4回の交通安全運動期間中に集中した啓発活動は効果がある。 高齢者交通教室の参加者の募集方法を工夫する必要がある。			
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	・交通事故の増加が懸念されるため。			
	判定	<b>B 改善</b>	事業内容の見直しが必要	事業主体	市
	判定理由	市民の交通安全意識を高め、交通事故防止のためには、市が継続して事業を実施する必要がある。			
	今後の方向性	○市民の交通安全意識の高揚を図るため、広報活動を実施するとともに各季の交通安全運動を展開し、痛ましい交通事故の発生を市民一丸となって防止する。			